

鹿児島県霧島市寄附募集プロジェクト

霧島市では総合戦略に基づく「地方創生プロジェクト(地域再生計画)」において、特に以下の4つの事業を、企業版ふるさと納税の活用により推進していきます。

寄附募集プロジェクト

基本目標:訪れたいまちづくり推進事業

1

移住定住促進事業

総事業費 約7,700万円
寄附目標金額 約3,000万円

2023年版「住みたい田舎」ランキング(宝島社)南九州・沖縄エリア「総合部門」1位に。人口減少が続く中山間地域の移住者増で、霧島市の魅力をもっと知ってもらいたい。

霧島市は、過疎化が進む中山間地域の空き家活用による地域活性化を推進するため、平成18年7月から移住定住に関するサポートを始めました。移住相談や移住体験後の移住者は過去17年間で979組、2,580人に上ります。

国・県と連携した移住支援金制度もあり、若年層を中心とした東京圏からの移住促進や雇用・人材の確保、子育て支援の充実を図ることで、さらなる若者世代の移住に力を入れています。移住者からは「移住相談や移住体験などのサポートが手厚い」「空港と温泉、どこでも光回線があり住環境が満足」と好評で、人口減少が続く中山間地域の活力になっています。

本市は、様々なステークホルダーの皆様と共に本事業をさらに推進し、地域の活力創出や持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。ぜひ当事業への支援にご協力ください。



移住の不安、歓迎で地域のファンに

中山間地域への移住者 江口 弾 さん
令和3年に妻と霧島永水に移住し、今もリモートワークで東京のIT企業に勤めています。初めは知らない土地で少し不安もありましたが、地域の交流会や学校の運動会に誘われたり、散歩中に笑顔で声を掛けてもらったりするうちに、ここでの暮らしが大好きに。将来は自分の得意なことを生かして地域に恩返しをしていきたいです。

寄附募集プロジェクト

基本目標:住み続けたいまちづくり推進事業

2

(仮称)クリーンセンター整備事業

総事業費 約24億円
寄附目標金額 約3,000万円

ごみの焼却熱を再生可能エネルギー(電力)に、4RやSDGsの環境学習にも活用。脱炭素化を推進し、子どもたちに持続可能な未来を残したい。

霧島市で排出される一般廃棄物を処理してきた敷根清掃センターは、稼働後20年を迎え老朽化が進んでいます。今後も安全で安定的かつ効率的に処理するため、(仮称)霧島市クリーンセンターを建設中です。

完成予定日は令和8年2月で、一日の処理能力が140トンの焼却処理設備を有します。焼却に伴い生じる熱は発電に用いて施設全体の電気を賄い、余剰分は電力会社に売電しエネルギーの有効活用を図ります。さらに、環境学習の場を創出し、地域住民の4RやSDGsへの取組を発信する拠点として、開放的で市民に愛される施設づくりを目指します。

本市は、様々なステークホルダーの皆様と共に本事業を推進し、ごみの適正処理や資源化など持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。ぜひ当事業への支援にご協力ください。



欠かせない施設、僕たちにもできること

横川小学校 福島 龍聖 君
清掃センターを見学して、ごみは種類別に処理され、有害な煙を出さない、使えるものは再資源化するなど工夫されていました。毎日出るごみの量の多さにも驚き、施設の大切さが分かりました。施設の長持ちには、ごみの減量や分別が効果的とのこと。これからも家族で取り組んでいる食べ残しゼロやプラごみの分別を続けたいです。

寄附募集プロジェクト

基本目標:住み続けたいまちづくり推進事業

3

市立医師会医療センター新築事業

総事業費 約3億5,000万円
寄附目標金額 約3,000万円

鹿児島県中央部の地域医療を担う、全室個室・高度医療の公的中核病院を新設。医療環境の充実で、誰もが安心して暮らせる持続可能なまちを目指したい。

霧島市立医師会医療センターは、鹿児島県中央部に位置する始良・伊佐地域の地域医療を担う公的中核病院です。現在の施設は築30年を経過したことから、多様化する医療ニーズや高度な医療サービスに対応できるよう、新病院の令和6年度開院に向け、建設を進めています。

新病院は、地上6階建てでHCU(高度治療室)や人間ドック棟などを配置し、診療科目は16科から24科に増加。病床は254床で、感染症リスク軽減やプライバシー確保のため全室個室となり、より安心・安全な医療環境の提供が可能となります。

本市は、様々なステークホルダーの皆様と共に本事業を推進し、地域医療の充実や持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。ぜひ当事業への支援にご協力ください。



地域の大切な病院。新設に向け心新たに

救急外来看護師 米徳 有華 さん
私はこの病院の近くの出身で、昔から家族がお世話になっています。勤務する立場になった今、毎日、大勢の患者さんが治療を受けて笑顔で帰っていく姿を見て、地域の皆さんにとって本当に大切な病院のだと実感しました。新病院になっても、最新の設備に負けないよう、スタッフ一同、患者さんの心に寄り添ってまいります。

寄附募集プロジェクト

基本目標:住み続けたいまちづくり推進事業

4

市立専門高校国分中央高校応援事業

総事業費 約1,400万円
寄附目標金額 約1,000万円

夢や希望に果敢に挑戦する生徒を育む、市立の実業系高等学校。学習環境の拡充により、子どもたちの“未来”を応援したい。

霧島市立国分中央高校は創立118年の歴史を誇る市立の専門高校で、園芸工学科、生活文化科、ビジネス情報科、スポーツ健康科の4学科があります。ASIA-GAP認証取得、地元企業との商品開発、文化祭での自作ドレスショーなどユニークな取組が特色で、卒業生の地元就職も多く、地域発展に貢献しています。部活動も活発で全国大会へも多数出場、ボランティアなどの地域貢献活動にも積極的です。

近年、ICT等の進展やSDGsの浸透に伴い、教育環境も大きく変化が求められていることから、市では通信環境や学校施設等の整備を進め、生徒の学習意欲を後押ししていきます。

本市は、様々なステークホルダーの皆様と共に本事業を推進し、子どもたちの教育機会拡大や持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。ぜひ当事業への支援にご協力ください。



目標・仲間と出会えた学校、発展に期待

国分中央高校 湯田 夏絵 さん
国分中央高校の魅力は、礼節を重んじ、生徒の個性やチャレンジを尊重してくれるところ。4つの学科と専門的な授業、充実した設備があり、先生も親身に接してくれます。私はここで、大好きなダンスや将来の目標、大切な仲間と出会うことができました。これからも、多くの後輩が目標に向かって頑張れるよう、学校の更なる発展を願っています。